

子ども発達センター

1 居宅送迎事業 予算科目(款・項・目) 15・10・40 [決算書217ページ]

幼児グループ事業(発達支援事業)を利用する子どもに対して、居宅と子ども発達センターの間の送迎を行うもの。このほかにも、調布市文化会館たづくり前等の調布市内の3箇所と子ども発達センターの間の送迎を行う指定場所送迎事業(巡回バス)及び通園事業利用児の送迎を行う通園バス事業を実施している。

居宅送迎事業利用実績 (単位:人)

年度	延べ利用者数	利用者実数
30	1,725	41
元	1,498	34
2	※ 604	※ 14

※ 令和2年度については新型コロナウイルスの影響に伴い、令和2年5月31日まで居宅送迎事業を休止した。

2 子ども発達センター運営会議 予算科目(款・項・目) 15・10・40 [決算書217ページ]

子ども発達センターの事業運営に、子ども発達センター利用児の保護者とその他の関係者等の意見を反映させるとともに、関係機関との必要な協力体制を整備し、事業運営を円滑に行うために設置するもの

- (1) 委員構成等 学識経験者(1人)、当事者団体の代表者(3人)、保育・福祉・教育関係者(8人)をもって組織 男6人、女6人

(2) 内容

開催回数	開催日	検討事項等
第1回	新型コロナウイルスの影響に伴い書面にて開催	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度子ども発達センター事業報告について 令和2年度子ども発達センター事業計画について 「児童発達支援センター」としての調布市子ども発達センターの事業展開について
第2回	令和3年2月5日	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度実施状況について 令和3年度の各事業の方針について

3 医療的ケア児支援関係機関連絡会 予算科目(款・項・目) 15・10・40 [決算書217ページ]

医療的ケア(人工呼吸管理、栄養管理、排泄管理等)を必要とする障害児とその家族が、心身の状況に応じた適切な支援を受け、地域において、安心して生活を営むことができるよう、継続的な支援に関する関係機関が連携し、連絡調整、情報交換を図るために設置するもの

- (1) 委員構成 市職員(6人)、関係機関職員等(8人)をもって組織 男3人、女11人

ア 医療機関・団体の代表

イ 障害福祉関係機関・団体の代表

ウ 保健・教育関係機関の代表

エ 市職員(保育課・児童青少年課・障害福祉課・子ども発達センター・健康推進課・指導室)

オ 当事者団体の代表

(2) 内容

開催回数	開催日	検討事項等
第1回	令和3年3月23日	<ul style="list-style-type: none"> 連絡会設置の経緯と目的について 実務者会について 調布市の医療的ケア児の現状について

4 相談事業

予算科目（款・項・目）15・10・40 [決算書219ページ]

子どもの発達に心配のある保護者や子ども施設からの相談に応じるとともに、子ども施設支援、普及啓発・保護者支援を行うもの

(1) 子ども支援事業

子ども発達センター利用に関する相談や子どもの発育・発達に関する不安や心配についての相談等に応じた。

※ 令和2年度については、新型コロナウイルスの影響に伴い、令和2年4月11日から同年5月31日まで、面談や診察等の来館を伴う事業を休止し、電話・メール等による相談のみ受け付けた。

ア 利用相談（未就学児で、氏名を聞くことができた人からの相談）

(ア) 支援実績（相談電話件数の括弧内は、新規電話件数）

年度	相談児数 (人)	新規申請 (人)		相談 (件)		インテーク (初回面談) (件)	発達検査等 (件)	在園支援 (件)	利用前診察 (件)	関係機関連携 (件)	報告書等作成 (件)	延べ支援数 (件)
		発達 支援	通園	電話 等	面談							
30	427	236	6	405(338)	107	324	250	15	242	147	28	1,518
元	430	227	6	440(327)	127	313	224	6	235	150	32	1,527
2	421	204	7	384(267)	139	255	179	5	211	185	11	1,369

(イ) 紹介元及び利用するきっかけ (単位：人)

年度	健康推進課	すこやか	幼稚園・保育園	教育相談所	医療機関等	直接（市報・市ホームページ）	その他	合計
30	137	11	97	2	22	123	35	427
元	114	10	105	1	27	144	29	430
2	113	9	108	0	21	139	31	421

(ウ) 内容（新規電話相談時における主訴）（複数回答可）（単位：件）

年度	ことば	社会性・情緒	対人関係	行動	運動	集団生活	その他
30	187	55	26	85	29	24	13
元	176	59	20	86	31	46	19
2	149	75	15	76	28	43	11

(エ) 関係機関連携内訳（相談内容によって関係機関と連携を図ったもの）（単位：件）

年度	健康推進課	すこやか	幼稚園・保育園	教育相談所	教育機関等	医療機関等	児童相談所	関係各課（健康推進課除く）	その他	合計
30	85	12	31	1	0	3	3	9	3	147
元	73	26	41	0	1	2	0	4	3	150
2	114	24	24	4	0	0	0	13	6	185

(オ) 報告書等作成内訳 (単位：件)

年度	児童状況等 報告書	就学支援 シート	医療機関へ の紹介状	その他	合計
30	27	1	0	0	28
元	31	1	0	0	32
2	11	0	0	0	11

イ 一般相談

(7) 支援実績

(単位：件)

年度	未就学児 ※1					就学以降 ※2					関係機関連携	延べ支援数
	保護者等		施設等職員	その他	小計	保護者等		施設等職員	その他	小計		
	電話等	面談				電話等	面談					
30	37	5	3	0	45	102	12	4	2	120	63	228
元	49	2	4	0	55	82	8	3	2	95	56	206
2	42	1	4	0	47	73	7	3	1	84	46	177

※1 匿名・市外の人からの相談

※2 18歳までの本人又は保護者からの相談

(イ) 内容(主訴) (複数回答可)

(単位：件)

年度	未就学児							就学以降						
	ことば	社会性・ 情緒	対人関係	行動	運動	集団生活	その他	ことば	社会性・ 情緒	対人関係	行動	運動	集団生活	その他
30	11	8	3	12	1	2	25	11	20	6	20	1	59	27
元	6	4	1	2	2	5	38	2	8	8	9	2	44	41
2	13	3	0	7	1	6	25	9	11	2	11	1	49	64

(ウ) 関係機関連携内訳 (相談内容によって関係機関と連携を図ったもの) (単位：件)

年度	健康推進課	すこやか 保育園	幼稚園・ 保育園	教育相談所	教育機関等	医療機関等	児童相談所	関係各課 (健康推進 課除く)	その他	合計
30	22	8	6	2	17	1	1	4	2	63
元	9	8	5	1	16	0	0	12	5	56
2	10	6	0	1	16	0	3	5	5	46

ウ 在籍児相談 (子ども発達センターを利用している人からの相談)

(7) 支援実績

(単位：件)

年度	発達支援事業							通園事業					関係機関連携	報告書等作成	延べ支援数	
	相談		発達検査等	在園支援	整形健診	その他	延べ件数	相談		発達検査等	整形健診	その他				延べ件数
	電話等	面談						電話等	面談							
30	20	80	58	2	16	1	177	1	9	0	3	3	16	43	20	256
元	51	75	49	1	14	5	195	0	15	0	3	2	20	84	24	323
2	73	113	68	0	15	7	276	3	6	0	1	4	14	60	39	389

(イ) 内容（主訴）（複数回答可）（単位：件）

年度	発達支援事業							通園事業					
	進路	家庭	子ども発達センター利用	在籍園	健康・医療	利用児自身	その他	進路	家庭	子ども発達センター利用	健康・医療	利用児自身	その他
30	2	6	51	5	3	50	4	2	11	9	0	4	1
元	3	1	58	8	13	34	12	0	0	15	0	0	0
2	11	6	83	7	15	77	36	1	1	6	0	0	1

(ウ) 関係機関連携内訳（相談内容によって関係機関と連携を図ったもの）（単位：件）

年度	健康推進課	すこやか	幼稚園・保育園	教育相談所	教育機関等	医療機関等	児童相談所	関係各課（健康推進課除く）	その他	合計
30	13	17	5	0	3	1	0	4	0	43
元	22	38	7	2	1	5	2	5	2	84
2	17	27	5	0	1	0	0	2	8	60

(エ) 報告書等作成内訳（単位：件）

年度	児童状況等報告書	就学支援シート	医療機関への紹介状	その他	合計
30	18	1	1	0	20
元	24	0	0	0	24
2	38	0	1	0	39

エ 医療相談 6人

子ども発達センターを利用する保護者を対象に、児童精神科医が、子どもの発達全般や医療面に関する相談に応じるもの

(2) 子ども施設支援

ア 研修会（幼稚園・保育園・児童館職員等を対象に実施）（単位：回，人）

研修・講習会	対象	回数	参加人数	内容
療育見学会	幼稚園・保育園・児童館職員等	※ 3	28	子ども発達センターの施設見学及び事業説明（新型コロナウイルスの影響に伴い、療育見学会を中止）
子ども発達センター研修会	幼稚園・保育園・児童館職員等	2	77	・発達が気になるお子さんに対して所属集団でできる支援 ・家族に届けたいプレゼント～共に育ちを支えるために～
子ども発達センター一日研修会	公立保育園職員	※ 7	7	子ども発達センター療育の一日参加及び情報交換
合計		12	112	

※ 療育見学会について、全6回を予定していたところ、新型コロナウイルスの影響に伴い、令和2年7月から同年10月までに予定した3回のみ実施した。

※ 子ども発達センター一日研修会について、1人あたり2日間の研修日程を設けていたが、新型コロナウイルスの影響に伴い、1人あたり1日間の研修とした。

イ 子ども施設訪問事業 (単位：箇所，人)

対象施設	利用施設数	人数
私立幼稚園	1	1
私立保育園	13	20
認証保育所	0	0
学童クラブ	2	2
市外幼稚園	0	0
その他	1	2
合計	17	25

(3) 普及啓発

職員を講師として派遣し，普及啓発を行うもの

(単位：回，人)

派遣先	回数	参加人数	内容
すこやかファミリーサポート協力会員講習会	1	10	発達障害とその特徴を学び，接し方を考える

(4) 保護者支援

(単位：回，人)

講習・勉強会	対象	回数	参加人数	内容
市民講演会	一般・保護者・関係機関職員等	1	54	生まれてきてくれて，ありがとう～子どもに伝えたいあなたのために～
保護者講習会	保護者	2	24	・乳幼児期の食べる機能の発達 ・はじめてのソープカービング
市内認可保育園障害児枠入園説明会及び通園事業利用説明会	保護者	1	29	市内認可保育園障害児枠と通園事業に関する説明及び入園申込方法等について
※ 就学に関する説明会	4・5歳児保護者	-	-	就学相談の流れと特別支援教育について
出張相談・講習会（アウトリーチ）	保護者	4	69	・乳幼児のことばの発達について ・乳幼児の運動の発達について ・親子で遊ぼう会&個別相談会
言語・心理療法概論	通園事業保護者	1	9	遊びとコミュニケーション
音楽療法概論	通園事業保護者	1	8	音楽療法について
※ 作業療法概論	通園事業保護者	-	-	作業療法について
合計		10	193	

※ 就学に関する説明会及び作業療法概論については，新型コロナウイルスの影響に伴い中止

なお，就学に関する説明会は，中止に伴い，調布市ホームページに説明資料及び説明動画を掲載した。

5 発達支援事業

予算科目（款・項・目）15・10・40 [決算書219～221ページ]

子ども一人一人の年齢や発達に応じて，個別療育・グループ療育を行い，子どもと家庭を支援するもの

(1) 支援実績

		年 度	実 施 回 数 (回)	事 業 利 用 実 人 数 (人)	延 べ 利 用 件 数 (件)	発 達 検 査 等 (件)	保 護 者 グ ル ー プ ワ ー ク (件)	在 園 支 援 (件)	面 談 ・ 電 話 相 談 (件)	関 係 機 関 連 携 (件)	報 告 書 等 作 成 (件)	延 べ 支 援 数 (件)
グ ル ー プ 療 育	1歳児 グループ	30	19	13	64	0	26	0	16	0	0	106
		元	16	16	80	0	50	0	7	0	0	137
		2	10	3	17	0	9	0	4	0	0	30
	2歳児 グループ	30	163	61	705	2	234	0	150	2	10	1,103
		元	148	61	674	0	236	4	112	21	1	1,048
		2	150	61	488	0	209	0	112	12	2	823
	幼児 グループ ※1	30	309	73	1,348	43	372	44	205	85	143	2,240
		元	247	58	1,173	46	373	34	178	66	149	2,019
		2	93	14	365	8	18	10	107	34	57	599
	言語・ 心理 グループ (親子グ ループ) ※1	30	110	64	443	27	414	7	51	14	36	992
		元	109	42	436	18	433	8	53	21	37	1,006
		2	143	64	582	31	555	1	77	22	54	1,322
	作業 活動 グループ	30	160	26	334	4	17	8	145	26	8	542
		元	152	29	401	4	20	12	157	50	19	663
		2	96	26	222	0	17	6	124	26	11	406
小 計	30	761	237	2,894	76	1,063	59	567	127	197	4,983	
	元	672	206	2,764	68	1,112	58	507	158	206	4,873	
	2	492	168	1,674	39	808	17	424	94	124	3,180	
個 別 療 育	言語・ 心理 療法	30	2,394	428	2,164	230		75	235	198	235	3,137
		元	2,605	446	2,339	208		59	258	169	233	3,266
		2	2,377	446	2,090	247		16	472	199	318	3,342
	運動 療法	30	459	31	459	0		1	10	12	1	483
		元	457	39	457	0		3	3	8	3	474
		2	367	32	367	0		1	5	3	2	378
	作業 療法	30	314	31	304	10		10	307	36	21	688
		元	277	33	277	1		8	283	38	14	621
		2	286	38	286	2		4	265	26	21	604
	作業 活動 ※2	30	212	19	212							212
		元	173	14	173							173
		2	62	4	62							62
	小 計	30	3,379	509	3,139	240		86	552	246	257	4,520
		元	3,512	532	3,246	209		70	544	215	250	4,534
		2	3,092	520	2,805	249		21	742	228	341	4,386
合 計	30	4,140	746	6,033	316	1,063	145	1,119	373	454	9,503	
	元	4,184	738	6,010	277	1,112	128	1,051	373	456	9,407	
	2	3,584	688	4,479	288	808	38	1,166	322	465	7,566	

※1 令和2年度から、保護者に、子どもの発達状況の理解を深めてもらえるよう、親子参加のグループに重点を置き、療育編成を見直したため、親子で参加する幼児グループの実績について、言語・心理グループ（親子グループ）の実績として計上

※2 個別療育の作業活動は、グループ療育の欄の幼児グループ内で行っている活動であることから、「発達検査等」、「在園支援」、「面接・電話相談」、「関係機関連携」及び「報告書等作成」の件数については、幼児グループの実績に含めている。

※3 令和2年度については、新型コロナウイルスの影響に伴い、下記のとおり実施した。

【令和2年4月11日から同年5月31日まで】

グループ療育・個別療育を休止し、電話相談のみ受付

【令和2年6月1日から同年8月31日まで】

個別療育は、感染防止対策を徹底し、通常どおり再開。グループ療育は、一部のグループについて定員・回数を変更したほか、個別療育に変更して実施

【令和2年9月1日以降】

個別療育に変更していたグループについて、感染防止対策を徹底し、定員を縮小したうえで、グループ療育として再開

ア 関係機関連携内訳（関係機関と連携を図りながら療育支援を行ったもの）（単位：件）

年度	健康推進課	すこやか	幼稚園・保育園	教育相談所	教育機関等	医療機関等	児童相談所	（健康推進課除く） 関係各課	その他	合計
30	5	14	320	4	5	4	0	21	0	373
元	12	41	282	14	7	2	5	9	1	373
2	13	51	226	7	6	0	1	14	4	322

イ 報告書等作成内訳（単位：件）

年度	児童状況 等報告書	就学支援 シート	その他	合計
30	338	115	1	454
元	348	108	0	456
2	309	155	1	465

(2) 在籍児の状況（3月31日現在）（単位：人）

年度	在籍児数	診断なし	診断有	手帳なし	手帳有			
					身体	知的	身体・知的	精神
30	596	523	73	53	6	12	2	0
元	607	532	75	52	6	15	2	0
2	634	557	77	54	5	16	2	0

(3) 利用終了の事由（単位：人）

年度	利用辞退							就学				合計
	通園事業 利用	幼稚園・ 保育園	他機関	転出	療育終了	その他	小計	通常級	特別支援 学級	特別支援 学校	小計	
30	17	2	0	22	5	1	47	152	5	2	159	206
元	9	1	1	19	16	6	52	133	5	4	142	194
2	16	0	0	20	8	0	44	197	9	4	210	254

(4) 発達支援グループ・通園クラス支援（専門職）

専門職が、発達支援事業のグループや通園事業のクラスに入り、子どもの発達状況や対応方法等について、職員に助言や指導等を行うもの

(単位：回)

		年 度	言語 聴覚 士	心 理 士	作 業 療 法 士	理 学 療 法 士
グ ル ー プ	1歳児	30	10	7	9	0
		元	5	10	11	0
		2	0	9	10	0
	2歳児	30	109	39	30	0
		元	84	62	16	0
		2	64	84	25	0
	幼児	30	157	74	52	0
		元	156	48	57	0
		2	34	19	28	0
	小 計	30	276	120	91	0
		元	245	120	84	0
		2	98	112	63	0
通園クラス		30	97	38	93	0
		元	109	93	104	2
		2	104	52	85	0
合 計		30	373	158	184	0
		元	354	213	188	2
		2	202	164	148	0

(5) 通園事業支援（専門療法）

専門職が、通園事業を利用している子どもやその保護者に対して支援を行うもの

(単位：件)

	年 度	個 別 指 導 数	発 達 検 査 等	面 談 ・ 電 話	関 係 機 関 連 携※	報 告 書 等 作 成	延 べ 支 援 数
言語・心理 療法	30	282	39	17	0	26	364
	元	311	24	13	0	27	375
	2	317	15	27	3	26	388
運動療法	30	185	0	0	3	3	191
	元	154	0	0	0	0	154
	2	115	0	0	0	0	115
作業活動	30	401	0	5	0	0	406
	元	274	0	3	0	1	278
	2	271	0	6	0	0	277
合 計	30	868	39	22	3	29	961
	元	739	24	16	0	28	807
	2	703	15	33	3	26	780

※ 関係機関連携内訳（平成30年度：医療機関 令和2年度：すこやか、教育機関）

ア 報告書等作成内訳 (単位：件)

年 度	児 童 状 況 等 報 告 書	シ ー ト 就 学 支 援	そ の 他	合 計
30	15	14	0	29

元	15	13	0	28
2	14	12	0	26

6 保育所等訪問支援事業 予算科目(款・項・目) 15・10・40 [決算書219ページ]

保育所等に通う障害児が、保育所等における集団生活に適応することができるよう、児童の在籍園に訪問し、施設職員に助言を行うもの

(単位：人，回)

年度	利用人数	訪問回数
30	4	39
元	7	92
2	※ 4	※ 27

※ 令和2年度については新型コロナウイルスの影響に伴い、児童の在籍園及び保護者と相談のうえ、4月及び5月の訪問を中止した。

7 居宅訪問型児童発達支援事業 予算科目(款・項・目) 15・10・40 [決算書219ページ]

重度の障害等のため、通所支援を利用することが困難な障害児の居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導や、知識能力の付与、生活能力の向上のために必要な訓練を行うもの
令和3年2月からサービス提供を開始し、令和2年度は実績なし

8 相談支援事業 予算科目(款・項・目) 15・10・40 [決算書219ページ]

障害児とその保護者及び家族からの相談に応じ、障害児相談支援や計画相談支援の計画作成及びモニタリングを実施し、福祉サービス利用に係る支援を行うもの

(単位：件)

年度	延べ計画作成数	延べモニタリング数
30	87	93
元	111	81
2	116	102

9 障害児等福祉教育連携会議 予算科目(款・項・目) 15・10・40 [決算書219ページ]

障害児等に係る関係部署において、個別記録票「i-ファイル」を中心とした連携⁷⁴について協議するとともに、福祉と教育の連携と一貫した支援のあり方を検討することにより、障害児等の健やかな成長及び発達をを図ることを目的として設置するもの

(1) 委員構成 市職員(11人)、関係機関職員(1人)をもって組織 男4人、女8人

ア 子ども生活部(子ども政策課・保育課・子ども家庭課・児童青少年課)

イ 福祉健康部(障害福祉課・健康推進課・子ども発達センター)

ウ 教育部(学務課・指導室・社会教育課)

エ 調布市子ども家庭支援センターすこやか

※ 令和2年度から、所掌事項の見直しを行い、委員構成を変更した。

(2) 内容

開催回数	開催日	検討事項等
第1回	新型コロナウイルスの影響に伴い書面にて開催	・家庭と教育と福祉の連携「トライアングル」について ・各課との連携について

(1) 緊急一時養護事業

家族の傷病，出産，学校行事等のため養育が困難になった場合に，障害児又は発達に遅れや偏りのある子どもを一時的に養育及び保護するもの

(単位：人)

年度	延べ利用者数	実利用者数
30	127	27
元	133	22
2	※ 65	※ 18

※ 令和2年度については新型コロナウイルスの影響に伴い令和3年1月12日から同年3月21日まで緊急一時養護事業の利用区分のうち，夜間区分を休止した。

(2) リフレッシュ支援事業

家族の疲労回復等のため，障害児又は発達に遅れや偏りのある子どもを一時的に養育及び保護するもの

(単位：人)

年度	延べ利用者数	実利用者数
30	56	16
元	62	18
2	※ 77	※ 22

※ 令和2年度については新型コロナウイルスの影響に伴い令和2年4月11日から同年5月31日までリフレッシュ支援事業を休止したほか，令和3年1月12日から同年3月21日までリフレッシュ支援事業の利用区分のうち，夜間区分を休止した。

※ リフレッシュ支援事業について，令和2年10月から休日や夜間の利用も可能にする等，制度を変更した。

11 通園事業（児童発達支援）

専門的支援を必要とする，原則，3歳から5歳児までを対象に，子どもの特性に応じた個別的療育プログラムを提供し，遊びを通して，コミュニケーション・社会性などの社会的能力，認知能力，運動・活動能力等の育ちを支援するもの

(1) 利用状況（3月31日現在）

年度	開所日数 (日)	延べ人数 (人)	在籍児数 (人)	手帳なし (人)	手帳有 (人)			
					身体	知的	身体・知的	精神
30	241	7,348	38	22	4	11	1	0
元	236	7,481	39	20	5	13	1	0
2	239	※ 6,225	39	20	6	11	2	0

※ 令和2年度については新型コロナウイルスの影響に伴い令和2年4月13日から同年5月31日まで通園事業を縮小し，登園の自粛を依頼したうえで，自宅での養育が難しい子どものみ，受け入れたほか，令和2年6月1日から同年7月31日までは，分散登園や時間短縮をして実施した。

(2) 利用終了の事由

(単位：人)

年度	利用辞退					就学				合計
	幼稚園・ 保育園	他機関	転出	その他	小計	通常級	特別支援 学級	特別支援 学校	小計	
30	5	0	1	0	6	2	2	7	11	17
元	0	0	3	2	5	1	4	8	13	18
2	1	0	1	0	2	1	5	6	12	14

(3) 運営委託

社会福祉法人調布市社会福祉事業団に運営を委託

(4) その他

令和2年10月から給食提供を開始したことで、児童福祉法に基づく設置基準を満たし、「児童発達支援事業所」から「児童発達支援センター」へ移行した。

12 児童発達支援事業所等連絡会

市内の児童発達支援事業所等が連携して、障害児等の成長過程に応じて、事業所の間において必要な情報の提供及び交換等に関することや、障害児に係る支援情報の提供及び啓発事業に関することについて協議することを目的として設置するもの

(1) 構成機関 市内に所在する児童発達支援事業所等5か所

(2) 内容

開催回数	開催日	検討事項等
第1回	令和3年3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における対応方法について ・個別支援計画の作成及び保護者との共有の仕方について ・定数を超えた利用希望者の対応について